

研究タイトル：第二言語習得に基づく  
言語運用・コミュニケーション研究



氏名：	大沼 敦子 / ONUMA Atsuko	E-mail：	onuma@kushiro-ct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	修士 (Master of Arts)
所属学会・協会：	全国高等専門学校英語教育学会 ほか		

キーワード：第二言語習得 (Second Language Acquisition, SLA)  
社会言語学・語用論 (Sociolinguistics & Pragmatics)  
コーパス/テキストマイニング (Corpus & Text Mining)

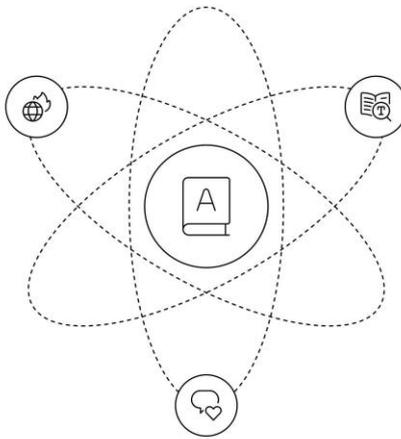
技術相談  
提供可能技術：地域の教育機関や企業、公的機関等と連携を図りながら、道東における「ことばの学び」の裾野を広げていく一助となればと考えております。

研究内容：

第二言語習得に基づく  
言語運用・コミュニケーション研究  
SLA-Based Research on Language Use and Communication

待遇ストラテジーと  
対人距離の相関モデル  
Politeness Strategies and Perceived  
Interpersonal Distance

関連業績 (Grants / Publications)  
・補助動詞「～てくれる」の新用法 — 擬人化プラス他動詞  
European Association for Japanese Studies, 2014  
・「国民諸君」から「国民のみなさま」へ  
— 歴代内閣総理大臣の所信表明演説に見る呼びかけ語の変化  
Japanese Language Variation Change Conference, 2014



専門理科学用語の音声的負荷と  
理解プロセスに関する実証研究  
Empirical Study on Phonological  
Load and Conceptual Understanding  
of Scientific Terms

関連業績 (Grants / Publications)  
・公益財団法人 下中記念財団 下中科学研究助成金 (2024-2025)  
『『ガ行』『カ行』聞き分けに特化した  
理科専門用語のリスニング支援に関する研究』

ラベリング表現と言語的ウェルビーイングの相互作用  
Linguistic Labeling and Well-being in Interpersonal Communication

関連業績 (Grants / Publications)  
公益財団法人 東海ジェンダー研究所  
第29回個人研究助成 (2025-2026)  
「ジェンダー平等啓発資料におけるラベリング表現の言語的影響に関する研究」  
— 「～のくせに」型表現を含むテキスト分析 —

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	